授業科目名・形態	基礎演習　　演習	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	水木暢子・西巻丈児・佐藤公彦・平林朋子・石川竹一	実務経験の有無	無	開講期	1年前期
科目ナンバリング	C1-1012				

※　看護学科必修

【授業の主題】

4年間の大学生活での学びを順調に、かつ効果的に進めるための学習方法（学習技術）について体系的に学ぶ。大学で専門分野の理論や技術・技能（理論と実践能力）を修得するために必要なスタディ・スキルの基礎を学ぶ。学術的レポートの作成とプレゼンテーションの意義・重要性を理解して、学徒としての学修・研究の基礎的能力を蓄積する。レポートの作成とその内容についてのプレゼンテーションを行う。

【到達目標】

1）学生としての自覚（自立した学習意欲）を促進する。
2）大学生活（研究、技術・技能の習得）に不可欠なスタディ・スキルの基礎を身につける。
3）与えられた課題に対して、学術・研究レポートの作成とプレゼンテーションができるようになる。

【授業計画・内容】

第 1 回　スタディ・スキルとは　（基礎演習の概要と大学生の学習技術）
第 2 回　ノート・テイキング
第 3 回　リーディングの基本スキル（テキストを読む）
第 4 回　より深いリーディングのために（深く読むためのスキル）　ワープロによる要約文の作成
第 5 回　大学図書館における情報収集（情報収集の必要性、大学図書館とは、その利用・活用方法）
第 6 回　インターネットによる情報収集（「蔵書検索システム」の利用方法、検索エンジンの使い方）
第 7 回　情報整理と文献リスト
第 8 回　アカデミック・ライティングの基本スキル（レポート・論文の書き方）
第 9 回　文献のリーディング・資料分析。自己の主張を分かりやすく表現する
第 10 回　パソコンによるライティング・スキル（ワープロの基本スキル、表計算ソフトとの連携）
第 11 回　完成に向けて（推敲、印刷、データのバックアップ）
第 12 回　プレゼンテーションの基本スキル（プレゼンテーションとは、プレゼンテーションの完成）
第 13 回　わかりやすいプレゼンテーション（ツールの利用、パワーポイントによるスライド作成）
第 14 回　プレゼンテーションの練習
第 15 回　プレゼンテーション実施

【授業実施方法】

基本的には演習形式、一部講義形式で行います。全員がプレゼンテーションによる発表や意見交換を行います。

【事前・事後学習】

毎回学習内容の振り返りが必要です。ワークシート、レポート、発表用のプレゼンテーション資料等の課題をその都度提示します。学習内容の振り返り・課題作成のために合計 15 時間程度自己学習を行ってください。

【主な関連する科目】

情報リテラシー

【教科書等】

学習技術研究会編『知へのステップ－大学生からのスタディ・スキルズ』第 5 版、くろしお出版

【参考文献】

A.W.コーンハウザー（山口英一訳）1995『大学で勉強する方法』玉川大学出版部

【成績評価方法】

授業への取り組み姿勢 20%，演習・レポート 30%、プレゼンテーション 50%により総合的に評価します。

【学生へのメッセージ】

学生生活が充実するように、大学における学習・研究方法の基礎（客観性を認識し自己の意見を組み立てる）を理解し、大学生活という新しい世界を切り開くために積極的に受講してください。